

第218回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成28年5月9日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 畠山 大

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
床井 和夫 (参与)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月3日放送の生ワイド番組「B・E・A・T」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

4月の改編で、毎週月曜から木曜までの平日午後の時間帯に、4時間の生放送ワイド番組「B・E・A・T」を新たに編成いたしました。

番組では、「遊び」、「グルメ」、「スポーツ」などの地域に根ざしたコンテンツを取材し、情報発信しています。

パーソナリティは曜日替わりとなり、今回は火曜日のコンビ、鹿沼市出身在住のアトムと、弊社の放送には初登場となるフリーアナウンサーの菅野未登利の放送をご試聴頂きます。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

全体的に音楽の演出が効果的で、その選曲も聴き心地がよい。
冒頭のタイトルコールから惹きつけられ、コーナーとコーナーの合間のジングルも良い。

委員：

2人のコンビは息が合っていて、とても和やかなトークを展開していた。
間延び感が多少あっても、このように内容を詰め込みすぎない方が聴き心地がよい。

委員：

アトムさんは、リポーター時代とは印象こそ違っていたが、その声には慣れ親しみが有り、安心して聞けた。
一方の菅野さんは声も良く、安定感があって話が分かりやすい。アトムさんがワイド番組のMCが初めてということもあり、菅野さんがある程度MCをコントロールしているようにも感じられた。

委員：

アトムさんの「宇工機械科」という表現は、地元の人でないとわかりにくい。省略形は慎重に使うべきだ。また、次のコーナーを紹介する際の言葉が中途半端になっていた箇所が気になった。

委員：

アトムさん主演のショートドラマは、さりげなく地元のコアな情報も入っていて、これまで長く続けていたリポーター時代の経験が活かされた内容で、とても好印象だ。
このコーナーがスタートすると、番組のテンポが変わり、良いアクセントになっている。

委員：

とても工夫されたショートドラマで、アトムさんは役に成りきっていた。一方、菅野さんは、あっさりとし流し気味に演じていたのが気になった。
ショートドラマの脚本は誰が書いているのか？

事業者：

このコーナーは、話す本人（アトム）が書いている。

委員：

菅野さんが甘い声のマダムキャラになって話すコーナーは、男性の受けは良いかもしれないが、一方で女性には不快に感じ取られている。喋り手として高いスキルを持っているのだから、このマダムキャラを固定することなく、別のキャラにも挑戦してほしい。

委員：

マダムな菅野さんは、夢の話の情報を取り上げたことは評価できるが、この口調は狙ったよりも熟した感じが出せていなかったし、滑ってしまっていた。
むしろ、その話の合間に絡んでくるアトムさんの喋りの方が光っていた。

委員：

AZUSAさんのグルメレポートは言葉が不明瞭で、表現も乏しく、このコーナー自体の印象があまり残らなかった。例えば、お店に居るお客さんの声を拾ったり、売れ筋商品を紹介してみるなど、レポートの方法にも工夫がほしい。

委員：

AZUSAさんは、まずは、はっきりとゆっくりと喋る技術を身に付けてほしい。
これまでリポーター経験がない彼女を採用した経緯は？

事業者：

今年のリポーターはルックスを重視して選考した傾向があったことは否定できない。また、地元プロスポーツチームとの結びつきを考え、ファンからの拡散効果を狙い採用を決めた背景もあった。
リポーターへの指導・教育は日々おこなっているが、これまで採用しても、「今後、伸びそうだ」と感じられるのは、4人に1人くらいの割合で、人材育成は難しいものがある。
リポーター自身も頑張っていて、勉強してほしいと考えている。

委員：

リポーターが容姿端麗であることはおまけであって、聴き手に伝わるようにきちんと情報を届けられるかが最も重要なことだと思う。局は、公共メディアに登場させる以上、責任をもって教育し、ラジオリポーターとしてのスキルアップに取り組んでほしい。

事業者：

昨今のラジオ番組は、原稿も読みつつ、笑いをとったり、ドラマでキャラを演じてみたりと、喋り手に求めるものが多彩で大変だ。また、映像無しで声だけで様々な情報を伝える難しさもある。映像があればそれほど詳しく言葉で伝えなくてもいい場合もあるが…。そうした事情から、落語家を積極的に喋り手として起用するラジオ局もあるようだ。

委員：

4時間という長丁場の番組だが、リスナーを飽きさせないよう、制作陣のエネルギーが随所に感じられた。また、パーソナリティもリポーターも感じがいい。それぞれのキャラが立ってくれば、番組全体の印象もさらに良くなっていくだろう。今後も遊びやグルメの情報を発信し続けてほしい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回を開催を6月13日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 5月29日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし